



2026年3月27日
コアレックス信栄株式会社

コアレックス信栄、大網白里市と 「一般廃棄物の再生利用促進に係る連携と協力」 に関する協定を締結

■焼却されていた「難再生古紙」を資源へ。可燃ごみに占める2割の紙ごみ削減を目指す。

コアレックス信栄株式会社（本社：静岡県富士市、代表取締役社長：黒崎暁、以下「当社」）は、千葉県大網白里市と「一般廃棄物の再生利用促進に係る連携と協力に関する協定」を締結いたしました。

本協定は、これまでリサイクルが困難として焼却処分されてきた「難再生古紙」の回収・資源化を推進するものです。大網白里市の環境啓発活動と当社の再資源化技術を組み合わせることで、持続可能な循環型社会の構築を加速させます。



■ 背景と目的：可燃ごみの20%を占める「紙ごみ」の資源化

大網白里市では、年間約1万トンの可燃ごみが排出されており、そのうち約2割が紙類によって占められています。これらの中には、従来の基準ではリサイクルに不向きとされ、資源として分別されずに焼却されている「難再生古紙」が多く含まれていました。

今回の協定により、当社は独自の技術を活用し、これまで回収対象外だった特殊な紙類の受け入れを開始します。これにより、ごみの減量化と温室効果ガスの削減、資源の有効活用に大きく寄与いたします。

■ 資源回収品目の大幅な拡大

本取り組みの最大の特徴は、市民の皆様が「雑がみ」として排出できる品目を大幅に拡大した点にあります。

【新たに回収・資源化が可能となる主な品目】

アルミ加工された紙パック（内側が銀色の酒パック等）

防水加工された紙（紙コップ、紙皿等）

感熱紙（レシート、領収書等）

カーボン紙・ノーカーボン紙（宅配便の伝票、複写式の書類等） etc...

これまでは「禁忌品（混ぜてはいけないもの）」とされていたこれらの紙類を資源として回収することで、市民の皆様の分別の利便性を高め、リサイクル率の向上を図ります。

■ 本協定による今後の取り組み

単なる回収ルートの構築に留まらず、市と協力して市民向けの環境啓発イベントやリサイクル学習会を定期的を開催いたします。「捨てればごみ、分ければ資源」という意識の醸成を共に行い、年間約 2,000 トンにのぼる紙ごみの確実な資源循環を目指してまいります。



【本件に関するお問い合わせ先】

コアレックス信栄株式会社 東京営業所 担当：杠（ゆずりは） 電話：080(4632)2615